

2015年6月1日

アバー・インフォメーション株式会社

**アバー・インフォメーション株式会社、福島県いわき市内の被災小中学校を支援する
書画カメラ(実物投影機)と福島県立平養護学校を支援するタブレット PC 充電同期保管
カートを寄贈**

アバー・インフォメーション株式会社(本社：東京都千代田区)は、2015年5月、4年前の東日本大震災による被災地復興支援の一環として、福島県いわき市内の小中学校3校(永崎小学校・錦東小学校・豊間中学校)へ弊社書画カメラ(実物投影機)「F55」、福島県立平養護学校へ弊社タブレット PC 充電同期保管カート「Tabsync」を寄贈しました。

当社の書画カメラは、教材や標本を映像画面で拡大提示する教育 ICT 機器として、国内外の多くの教育現場で活用されています。

また、弊社が昨年より新たに発売したタブレット PC 充電保管カートも、次世代型のタブレット PC 学習における保管管理をより安全で効率的にするものとして、国内外の様々な教育現場で導入が進んでいます。

当社は、被災地の復興のための CSR 活動の一環として、より良い教育環境や児童学習体験を創出する一助となることを願って、書画カメラとタブレット PC 充電保管カートを寄贈しました。

今後、各校の先生・生徒の皆さまが、書画カメラやタブレット PC を通じて便利さや発見・感動ある学習体験を得ることを期待するとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■いわき市訪問について

2015年5月14日、当社教育 ICT 事業部は福島県いわき市を訪問しました。

最初の訪問先であるいわき市立豊間中学校の訪問前には、小名浜漁港に立ち寄りました。街並みを彩る赤白のツツジの花、空と海は青く澄み渡り、穏やかな波に停泊する何隻もの漁船が揺れるのどかな風景は、普段通りの平和な日本の漁師町そのものの姿でした。

昼食に立ち寄った漁港の定食屋さんには、地元の若い夫婦がベビーカーに赤ちゃんを乗せてやってきて、定食屋の女将さんたちが喜んでいました。

福島で育つこの子たちの未来の為に、この子たちが将来学ぶ学校の為に、わたしたちが出来る支援を少しずつでも実行したいという思いが募りました。

続いて、旧豊間中学校校舎を視察しました。そこにはいわゆる目で見て判る、石巻・女川や陸前高田と同じく津波被害の傷跡が残っていました。海岸沿いの校舎は廃墟となり、周囲は高台として再造成の工事が行われていました。震災から4年、ここもいまでも広大な盛り土と作業トラックの往復と、いまなお復興の途上にあります。そして最初に訪れた現在の豊間中学校は、やや内陸にある豊間小学校を間借りしていました。先生も子供たちもいつも通り元気そうで、毎年の事ですが、逆に私たちが元気や勇気をもたらしている気がします。

2013年宮城県石巻市、2014年岩手県陸前高田市と続き、今年で3回目となった東日本大震災被災地学校支援活動ですが、このような被災地支援活動を継続して行く意義は大きく有ると弊社一同感じると共に、当社の書画カメラを通じて児童の皆さまが、そして先生方も、発見と感動ある学びの体験を得て成長して頂ける一助となれば幸いとの願いを引き続き強く持ちました。

また、今回は特別支援学校様へのiPad充電・同期・保管カートの寄贈も行いました。被災地域の支援と合わせて、特別支援教育への支援も弊社では社会貢献活動の一つとして取組ませて頂いております。ハンディキャップを持つ子どもたちへの学習支援にこそ、テクノロジーの持つ力に大きな可能性があると思います。弊社はICT機器開発製造メーカーとして、特別支援教育分野への発展にも寄与して参ります。



*小名浜港にて。



*海岸に面している旧豊間中学校校舎

今なお津波被害の傷跡を残す建物で、保存意見もあつたそうですが、強固な堤防再造成に伴い取り壊されるそうです。



*校庭側から見た旧豊間中学校。
右には青い海が見えます。



*少し内陸に入った場所に豊間小学校がありました。
ここに豊間中学校も仮校舎で入っています。



*豊間中学校プレハブ仮校舎。
この日は運動会直前で、校庭では生徒が元気よく練習
をしていました。



*寄贈品「F55」書画カメラは、大型液晶テレビとセットで
ご活用頂いてます。画像はフレキシブルアームの感覚を確
かめる高濱校長先生。



*豊間小学校の裏山を削って再造成中。
海拔も高く安全なこの場所に豊間中学校の新校舎が
作られる計画です



*いわき市教育委員会 吉田 尚 教育長から頂戴しました、
このたびの書画カメラ寄贈支援活動への感謝状。
現在は弊社会議室内に飾らせて頂いております。
贈呈式ではいわき市内の新聞記者にも集まって頂きました。
短い滞在となってしまいましたが、いわき市教育委員会の
皆さまの温かいもてなしにこちらこそ感謝でした。

社団法人日本新聞協会加盟

報いわき民報

THE IWAKI MINPO

いわき市内ニュース

お悔み情報

会社案内

事業案内

広告のご案内

リンク集

お問い合わせ

いわき民報 > いわき市内ニュース > Blog article: 来月20日「女性大学」が開講 J Aいわき市、受講生募集中



いわき市内ニュース

Iwaki City News

来月20日「女性大学」が開講 J Aいわき市、受講生募集中

2015年05月15日(金)更新

[前の記事](#)

[次の記事](#)

同日のニュース

- 三和町の市営芝山牧野が開牧
- いわきで震度3
- 21日から7月14日市勿来開文学歴史館で近世の商業企画展「あきない」
- 春季東北地区高校野球 県大会きょう開幕
- めざせインターハイ 剣道 平工（男子）、磐城（女子）が団体優勝
- 30、31日平赤井 ローズガーデンコン開催
- **アパー・インフォメーション 永崎、錦東小・豊間中に書画カメラ9台寄贈**
- 同僚の部屋から6万円盗んだ男逮捕

*2015年5月15日(金)付 夕刊いわき民報 Web ニュースキャッシュ画面より。



*福島県立平養護学校。



*今回ご寄贈の「Tabsync」と既に学校使用中のiPad。
ライトニングケーブルを繋げるだけで、かんたんに充電・同期・保管が出来ます。



*比較的新しく立派で綺麗な校舎ですが、ところどころ地震によるひび割れや陥没が見受けられました。



*稲田健実先生に特別支援教育に役立つ iPad 機能についてご教授頂きました。さすが ICT 活用教育の実践研究をされている先生グループの一人です。とても勉強になりました。